

# 男女共同参画の視点による防災推進事業

## 【事業実施主体】

一般財団法人 京都府民総合交流事業団

## 【連携団体】

京都府・市町村・市町村男女共同参画センター  
京都府災害ボランティアセンター  
NPO法人京都災害ボランティアネット  
NPO法人働きたいおんなたちのネットワーク  
NPO法人まいづるネットワークの会  
京都府社会福祉協議会  
京都府女性の船「ステップあけぼの」  
京都府連合婦人会 他

## 【目的】

災害に備えて、行政、男女共同参画センター、関係機関が男女共同参画の視点に配慮した被災者支援ができる体制づくりと、避難所運営等において、住民自身が男女共同参画の視点に配慮した対応が可能となるための啓発等を実施する。

## 【主な取組】

### ①男女共同参画の視点による避難所運営ガイドの作成

市町村職員や地域住民が平常時の研修に活用し被災時には避難所等で活用できるガイドを作成

### ②避難場所づくり設営体験講座の実施

地域住民が男女共同参画の視点による避難場所づくり設営を体験し、避難所運営ガイドを活用して、実践的に学び、意見交換を行う

### ③女性相談サポーター養成講座の実施

日頃から地域で相談を受け、よりよい相談役を目指す女性を対象に、傾聴・情報提供・専門相談員へつなぐ活動が出来る相談サポーター養成講座を実施し、修了者を京都府男女共同参画センターに登録

### ④京都府男女共同参画センターを核とした災害時の女性支援ネットワークづくり

被災時の女性相談マニュアルを作成し、それを活用して助言・相談対応に関する市町村相談員のサポートの実施。女性のための相談ネットワーク会議等で、被災時に相談機能を十分果たせるよう、相談員のサポート体制の提案

# 事業実施概要①

## 男女共同参画の視点による避難所運営ガイド作成・啓発

- ・京都府、男女共同参画センター、京都府社会福祉協議会、京都府災害ボランティアセンター、NPO法人、女性団体等の協働で避難所運営について、実践的な避難所運営ガイド(5,000部)を作成。
- ・避難所の運営等に必要な、男女共同参画の視点を中心に、ユニバーサルデザインなどを含めた災害時に必要となる避難所運営に関する必要最低限のことについて理解を深めるもの。
- \* チェックシート編は5点(1. 避難所運営 2. 避難所設計 3. 避難所における役割分担 4. 女性、男性の抱える個別課題への対応 5. ボランティアと避難所運営者との連携)に絞って、項目を箇条書きで簡潔にして、チェック出来るようにした。
- \* 図面編は、避難所のレイアウトが一目でわかるように工夫し、それぞれのスペースに具体例を示した。

## 避難場所づくり設営体験講座の実施

- ・災害時には学校体育館等の避難所だけでなく、地域の色々な場所が避難場所になることが考えられる。身近な場所、会議室や自分たちが活動しているスペースが避難場所になることを想定して、地域住民が男女共同参画の視点による避難場所づくり設営を体験し、学べる講座を京都市内(20名)、舞鶴市(22名)、宇治市(19名)で実施。
- \* 男女共同参画の視点による避難所運営ガイドを活用。
- \* 実際に段ボールパーテーションを組み立て、テーマ(乳幼児がいる世帯、高齢者がいる世帯、女性専用、男性専用)に基づいたスペースを作るためには、どうしたらよいかをみんなで考え、工夫し、意見見交換しながら体験し、実践的に学ぶ。



# 事業実施概要②

## 災害時の女性相談サポーター養成講座の実施

- ・災害時に増大する女性相談に対応するため、日頃から地域で相談を受け、よりよい相談役をめざす女性を対象に、専門相談員と連携して傾聴や情報提供を担う女性相談サポーターの養成講座を実施(5日間 通算22時間20分(20分は今後の活動について))。
- \* 修了者19名 京都府男女共同参画センター女性相談サポーターに登録。
- \* 受講者は30代から70代まで幅広く、京都府内全域から受講。
- \* 「講座修了後、女性相談サポーターとして活動できますか」について8割が「活動できる」と回答→活動意欲の高い受講者と、活動を促す効果的な講座となった。



## 分野を超えた協働実施

## 京都府男女共同参画センターを核とした災害時の女性支援ネットワークづくり

- ・被災時の女性相談マニュアルを作成し、それを活用して助言・相談対応に関する市町村相談員のサポートを実施。
- ・女性のための相談ネットワーク会議、市町村男女共同参画センターネットワーク会議で、被災時に相談機能を十分果たせるよう、相談員のサポート体制の提案。
- ・市町村イベント(城陽市ぱれっとフェスタ、舞鶴市まいてフェスタ)参加・協力。
- ・京都府連合婦人会中央研修、京都府女性の船「ステップあけぼの」リーダー研修で普及啓発。



# 事業効果

## ①男女共同参画の視点による避難所運営ガイドの作成

福祉のユニバーサルデザイン、男性の課題や被災地での活動経験を踏まえた内容で、男女共同参画だけでなく多様な視点に配慮した避難所運営等について普及啓発ができた

## ②避難場所づくり設営体験講座の実施

地域住民が「避難所運営ガイド」を活用して、実際に避難場所を設営し、意見交換することで、自ら考え、体験的に学び理解を深める講座となった

## ③災害時の女性相談サポーター養成講座の実施

災害時に傾聴・情報提供し専門相談員をサポートし、増大する女性相談に対応する人材の育成ができた

## ④京都府男女共同参画センターを核とした災害時の女性支援ネットワークづくり

分野を超えた協働により①②③の事業を実施したことで、防災・福祉分野等との関係づくりができ、市町村男女センター間の連携を強化することができた

# 今後の課題

## ①男女共同参画の視点による避難所運営ガイドの作成 ②避難場所づくり設営体験講座の実施

継続的に実施し、より多くの府民に男女共同参画の視点による防災について普及していく必要があるが、実施回数には限界があるため関係団体や受講者が、地域で普及啓発していけるよう支援する

## ③災害時の女性相談サポーター養成講座の実施

被災時に増大する女性相談に対応するために、更なる女性相談サポーターの養成が必要であり、1期生の能力の維持、向上のためフォローアップ講座の実施が必要である。女性相談サポーターと市町村の専門相談員をつなぎ、被災時に連携して活動できる体制をつくる

## ④京都府男女共同参画センターを核とした災害時の女性支援ネットワークづくり

①②③の事業を継続して実施し、京都府男女共同参画センターの役割、機能を発揮して、平時から関係を密にして信頼関係を築き、災害時の女性支援ネットワークをつくる